

広報・教育部門

次世代を担う子どもたちに向けた上下水道訪問授業

名古屋市



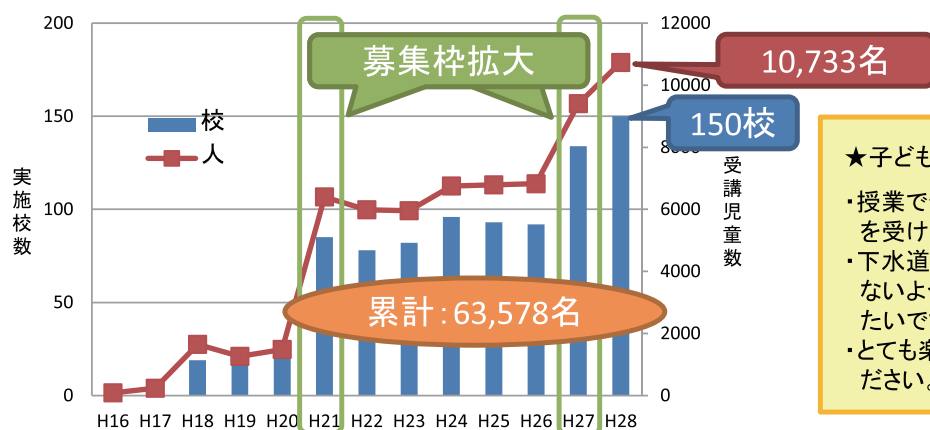
自然の中の水循環における
上下水道の役割などを説明



子どもたちが積極的に参加できる
対話形式での授業



実験・体験で、理解をさらに促進



★子どもたちの声★

- ・授業で分からなかったことも、訪問授業を受けて理解できました。
- ・下水道に流してはいけないものを流さないように気をつけます。家族にも伝えたいです。
- ・とても楽しく勉強できました。また来てください。

PRポイント！

上下水道訪問授業は、社会科の授業の一環として実施しています。授業はすべて直営で行っており、部署に関わらず、採用2～5年目の上下水道局の職員全員（273人）が講師を務めています。そのため、同じカリキュラムの中でも、各々が所属部署での仕事の経験を生かしながら授業を実施しています。

授業では、楽しく学んでいただけるように画像や動画を使ったパワーポイントを使用し、実験も取り入れています。また、次世代を担う子どもたちに、防災対策（下水道直結式仮設トイレ用マンホールの紹介）や老朽化対策など、局の重要施策を合わせて紹介しています。

授業開始当初から年々受講希望が増えており、現在、市内の約6割の小学生に対して授業を実施しています。非常に大きな広報効果がある取組みとして、今後も続けていきます。

Key Person



上下水道局の
講師たち

どうすれば、楽しく、分かりやすい授業になるか考え、先生にとってもらうアンケートや、受講児童一人ひとりの感想に全て目を通し、改善のポイントを探りながら毎年内容をブラッシュアップしています。その分、児童から「分かりやすくて楽しかった」「家で家族にも話したい」といった感想をいただくと、とても嬉しくなります。

また、最近では保護者の方から、「子どもが今度訪問授業を受けるんです」「子どもは、中学生になった今でも訪問授業のことを覚えているみたいです」といった声を聞くこともあり、下水道について子どもが親に話したくなるような授業を今後も続けていきたいと思ひます。